

(お知らせ)

平成 28 年 12 月 14 日  
防 衛 省

## MV 22 オスプレイの不時着水及び防衛省・自衛隊の対応について (第 3 報)

※下線部は、前回からの変更箇所

### 1. 事案概要：

平成 28 年 12 月 13 日（火）21 時 30 分頃、沖縄県名護市東海岸から約 1 km 沖合で米軍機 MV-22 オスプレイ 1 機が不時着水。

事故原因は不明。

搭乗員 5 名は無事（うち 2 人は怪我）。

上記情報については、引き続き確認中。

### 2. 防衛省・自衛隊の対応

(1) 活動部隊 空 自 那覇救難隊（那覇）

(2) 活動規模 航空機 2 機

(3) 主な対応状況

【12 月 13 日】

22 時 28 分 防衛大臣指示

- 1 情報収集を徹底し、状況の把握に努めること。
- 2 人命救助に万全を期すこと。
- 3 地元への説明など、対応を確実にすること。

23 時 05 分 那覇救難隊の U-125 × 1 機が搜索活動のため基地を離陸。

23 時 17 分 那覇救難隊の UH-60 × 1 機が搜索活動のため基地を離陸。  
※要救助者は米軍機により収容。

【12 月 14 日】

0 時頃～1 時頃 沖縄防衛局長がコンウェイ在沖米海兵隊政務外交部長に面談し、事故に係る原因究明・情報提供、安全が確認されるまでの飛行停止について申し入れ。

2 時 20 分～5 0 分 防衛大臣がマルチネス在日米軍司令官へ電話し、事故に係る原因究明・情報提供、安全が確認されるまでの飛行停止について申し入れ。

10 時 20 分～40 分 沖縄防衛局長がニコルソン在日米軍沖縄地域調整官と面談し、事故の状況や飛行停止の状況等について確認（※回答は下記と同様）。

10 時 42 分～11 時 23 分 防衛大臣がマルチネス在日米軍司令官と電話会談。米側から、

・事故機が空中給油訓練実施時にホースが切れ、不具合を生じた

・飛行困難となりキャンプ・シュワブを目的地にして飛行するなかで、地元への影響を極小化するため海岸沿いを飛行していたが、途

中で辿り着けず着水した

・機体はコントロールできる状態だった

・事故の原因が機体である可能性は極めて低い

・安全が確認されるまで一時飛行が停止される

ことについて確認した。

| 防衛省地方協力局地方協力企画課 |                                                                                           |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 連<br>絡<br>先     | 地方協力企画課長      森田   治男<br>企画調整官              中野   滋明<br>(代表) 3268-3111    (内線 36250、36041) |